

精神保健福祉士実習現場と養成教育の現在

～これからの精神保健福祉士の養成と実践を展望して～

2019年6月に「ソーシャルワーク機能の実践能力」の養成を目指して社会福祉士養成教育カリキュラムが見直され、2カ所以上合計240時間の実習が導入されました。これを受け、精神保健福祉士養成カリキュラムも更新され（実習時間に変更なし）、2021年度入学生から適用が開始されました。2025年2月に実施された第27回精神保健福祉士国家試験では、新たな教育内容に基づいた出題が開始し、大学では、2025年3月に初めて新カリキュラム適用の卒業生を現場に送り出しました。

2019年のカリキュラム見直しは、「精神保健福祉士を取り巻く環境の変化」～地域社会における共生を目指した障害者総合支援法の施行、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築の構築を目指す新たな理念の提示、依存症支援体制整備の推進など～を受けたものでしたが（社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課（2019）「精神保健福祉士養成課程における教育内容等の見直しについて」）、その後、2022年に精神保健福祉法の改正もあり、精神保健福祉士に期待される役割は、狭義の精神障害者の支援から、幅広くメンタルヘルス課題を有する者への相談援助へと大きく変化しつつあります。

本研修は上記変化の中にある、精神保健福祉士実習現場と養成教育の現在地を、確認・共有することを目的とします。とりわけ、社会福祉士実習における実習時間増加の精神保健福祉士実習への影響や、日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロックとして作成した実習評価表の使用感、現場における人材確保の課題と実習指導体制の維持などについて、実習現場で働く精神保健福祉士の皆様と養成校教員とで情報共有、意見交換をする機会としたいと考えます。これにより参加者が、今後の精神保健福祉士の養成と実践を展望する視座を得ることができれば幸いです。

プログラム

12:30	受付開始
13:00	開会挨拶 飯田 憲司 (北海道精神保健福祉士協会資格・実習部長)
13:05 ~ 13:35	養成校教員からの話題提供 浦田 泰成 氏 (名寄市立大学) 中村 裕子 氏 (札幌学院大学)
13:35 ~ 13:45	質疑応答
13:45 ~ 14:30	実習指導者からの話題提供 山村 哲 氏 (医療法人社団立青会なるかわ病院) 片山 和恵 氏 (NPO 法人精神障害者を支援する会) 服部 篤隆 氏 (公益財団法人北海道精神保健推進協会) ここリカ・プロダクション)
14:30 ~ 14:40	質疑応答
14:40 ~ 14:55	休憩
14:55 ~ 16:15	グループワーク (発表含む)
16:15	閉会挨拶 浦田 泰成 (名寄市立大学、北海道精神保健福祉士協会資格・実習部理事)

会期 **2026年2月11日（水・祝）13:00 ~ 16:20**

会場 北星学園大学 C402 教室 (札幌市厚別区大谷地西 2-3-1)

地下鉄東西線大谷地駅下車 1番出口から徒歩 5 分 ※オンライン同時開催

参加費 ◎日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック加盟校教職員

◎北海道精神保健福祉士協会会員 無料

※それぞれ非加盟校教職員・非会員は 500 円

定員 現地参加：50名 ZOOM 参加：30名 (先着順)

■ 研修会参加への申し込み及び参加費の振り込み締め切り

2026年2月4日 (火)

■ 申し込み方法：右記の QR コードまたは下記の Forms よりお申込みください。

<https://forms.gle/NUJCA376SbeJU6Yx9>

■ 非加盟校教職員・非会員参加費振込先口座：北洋銀行元町支店 店番 120 普通 3148668

北海道精神保健福祉士協会 春期研修 会長 佐々木寛 (ササキヒロシ)

■ 本研修会に関するお問い合わせ：永井順子 (北星学園大学) < j-nagai@hokusei.ac.jp >

